

EDO WONDERLAND

日光江戸村

歳時記

夏の宴

江戸料理 江戸料理

食べ歩きの日間

8月22日(水) ▶ 26日(日)

扇風機もクーラーもなかった江戸時代。人々はどのように暑い夏をしのいでいたのか。その答えは「食」にあり！体を冷やす食材や旬の味を食べることで、身体の中から元気になり、暑い夏を乗り切っていたのです。これぞ、Edo is the answer. 食の観点からも江戸に学ぶことはたくさんあるのです。江戸村の歳時記「夏の宴」では、食べて元気になるたくさんのメニューをご用意しました。涼を感じるたくさんのアトラクションとともに、食べて元気になる江戸の夏をぜひご堪能ください！

牛の味噌漬



一六八七年、彦根藩において花木伝右衛門が明の李時珍の著書「本草綱目」を参考に、牛肉の味噌漬を考案し、「反本丸」と称したと伝えられる品を味わう！

「竈屋」が期間限定特別開店！

平賀源内に騙されるな！江戸の夏と言えば…穴子。日本一の特産品、下野と言えば…干瓢。江戸の夏はこれで決まり！旬の味をたらふく味わう！

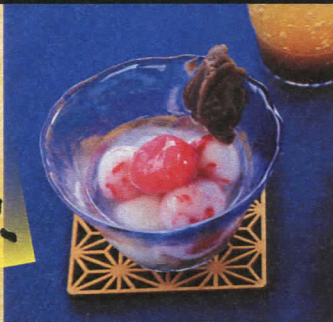
煮穴子



二種類の「夏の宴」特別御膳

「信濃屋」で涼を感じるお江戸スイーツ！

白玉金魚



江戸の夏は視覚からも涼む！見た目も鮮やかな涼を感じるお江戸スイーツをご用意しました。食後のデザートに、昼下がりの糖分補給にお召し上がりください。いつの時代も、甘いものは別腹、ベツバラ…

その他多くの江戸の食文化をまるごと体験するメニューを展開いたします。



夏の宴



新内流し

江戸時代の末期頃より、粋な着流しに男は吉原冠り(よしわかむり)、女は吹き流しの手拭いで三味線を弾きながら廊や花街を流して歩く。江戸情緒溢れる街頭芸。



【出演】
多賀太夫
ただげう

新内節富士元派七代目家元。

1982年東京都生まれ。6歳より父の新内仲三郎(人間国宝)に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科を卒業し、同大学院博士課程を修了。論文「琴(箏)を通した上調子の発生と発達」で東京藝術大学大学院音楽研究科三味線音楽専攻音楽学位(博士号)を取得。歌舞伎や新派公演、国立劇場、三越劇場、紀尾井ホール主催公演等に出演。深川江戸資料館では新内流しの再現を行う。また千代田区アーティストインスクールの講師となり、子供たちへの普及にも励む。新内協会理事。

江戸の芸に 酔いける 特別な二日間

新内流し

端唄

落語

端唄

江戸時代後期より幕末にかけて流行した当時の流行歌。季節の風景や恋愛模様を短い曲の中に織り交ぜて、一般庶民が楽しめる音楽として流行していた。



【出演】
山本ゆきの
やまもと ゆきの

細棹三味線を主とし、お座敷唄や長唄等の古典曲から、現代・オリジナル曲等、ジャンルにとらわれない幅広い演奏と作曲活動をし、独自のスタイルで三味線音楽を開拓している。現代邦楽研究所第一期生。ピクチャー邦楽技能育英賞受賞。NHK邦楽オーディション合格。長谷検校記念全国邦楽コンクール優秀賞。慶応義塾大学国文学科卒業。



【出演】
大友美由奈
おとも みゆな



【出演】
古今亭文菊
ここんていぶんぎく

1979年東京都生まれ。

2001年、学習院大学文学部史学科卒業後、古今亭圓菊に入門。2003年1月に前座に、2006年5月に二ツ目に昇進する。2012年9月には28人抜きで真打ちに昇進して話題に。これまで、NHK新人演芸大賞落語部門大賞、浅草芸能大賞新人賞などを受賞。



【出演】
古今亭始
ここんていはじめ

演目	場所	8月25日(土) 開演時間		8月26日(日) 開演時間		演目時間
新内流し	堀(お狩り場前-日本橋)	お狩り場前 10:00	日本橋前 15:20	お狩り場前 10:00	日本橋前 15:20	20分
端唄	三味線体験処 信濃屋横	11:00	13:30	11:00	13:30	30分
落語	両国座	11:10	15:50	11:30	15:50	30~40分

